

インターンシップフォーラム2022

～ つばめいと 事例紹介 ～

公益社団法人つばめいと 事務局長 若林 悦子





新潟県
NIIGATA
PREFECTURE

燕市
TSUBAME CITY



新潟県燕市

| | |
|-------|---------|
| 人口 | 77,000人 |
| 工業出荷額 | 4,400億円 |

東京駅から新幹線で約2時間

燕市で起きていた人材不足

若手人材が帰ってこない！

→若手人材の不足、人材獲得難

・・・その時、私は商工会議所の職員

－ 小規模事業所の会計、決算処理

－ 工業部会、商業部会の会議運営の事務局

→ 地域の企業の状況を知る仕事に従事

大学からインターン受入要請

新潟大学 工学部 協創経営プログラム

低学年次から卒業までに様々なインターンシップを導入。

専門科目を習得しながら、社会における課題解決プロセスに触れ、工学の実践的な力を身につける。

1年 約80名、2～4年次 各約30名

インターンシップの受け入れの相談

大学等の教育現場では

受入れ先開拓・企業との調整が難航

人材不足の打開に向けて

**インターンシップを使って
若者とのつながりを増やそう！**

→企業から上がった声の実現を目指す

→商工会議所・市役所では
異動がある、単年度での成果が求められる

インターンシップは長期的な視野が必要…

公益社団法人つばめいと

つばめ産学協創スクエア事業（2016年）

人材育成の主役である
地元経営者が実施法人設立



拠点施設建設（2018年）

地元企業100社の寄付
（8,000万円）

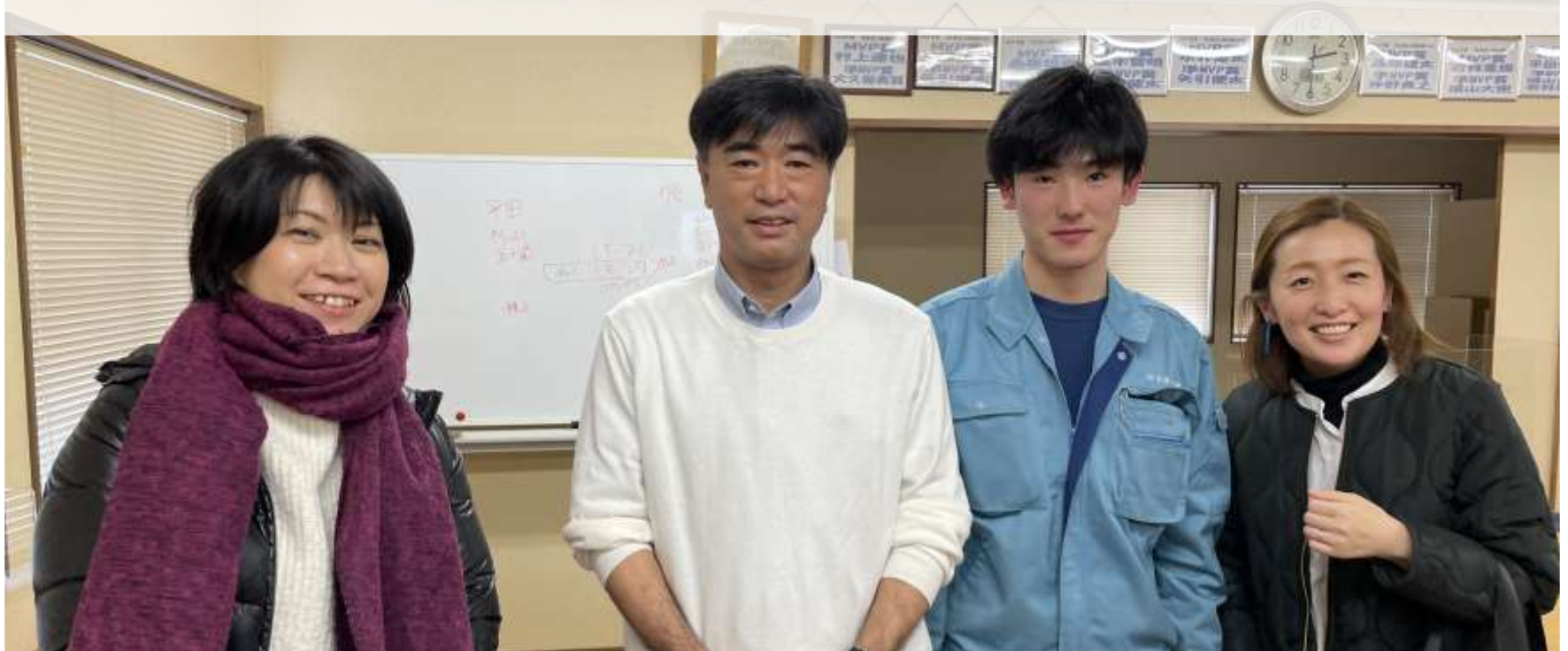
公益社団法人つばめいと

① 常駐コーディネーターの設置

地元企業の特徴と課題を把握し学生・大学と企業の橋渡し

② 学生は無料で宿泊 (最大18名)

宿泊に関わる費用は受入れ企業が負担 (1,980円/週)



つばめいとのコーディネート



• 企業と学生をつなげるだけではありません

→ **企業との学習効果の共有**

「学生にどうなってもらいたいのか」

「何を学びたいのか」・「何を達成すべきか」

つばめいととのコーディネート



→ 学習効果を軸にコーディネート

時には自ら講義を行うことも

「燕市の産業の歴史と構造」

「各企業の産業内の位置を知るポイント」

「製造業における品質管理とは」

つばめいとのコーディネート

- 大学の学習効果に応えるための受入先の開拓

英語対応が可能な企業

プロダクトデザインが求められる企業

組織改善への提案が必要な企業

スローガン制作が有効な企業

品質管理の発展が必要な企業

SDGsについての深堀が必要な企業 …etc.



これらの中には対象となる企業が、
その課題に気付いていないことも。

つばめいととのコーディネート

- 大学の学習効果に応えるための受入先の開拓

英語対応が可能な企業

プロダクトデザインが求められる企業

組織改善への提案が必要な企業

スローガン制作が有効な企業

品質管理の発展が必要な企業

SDGsについての深堀が必要な企業 …etc.

地域企業についての知見を活かした

学習効果にコミットしたコーディネートの実践

→ 組織が企業主体であることが強みに

つばめいととのコーディネート

品質管理と安全工学を学ぶインターンシップ

| 日程 | |
|-------|--|
| DAY.1 | <ul style="list-style-type: none">・<講義>「燕市の産業構造について」（つばめいと若林）・<講義>「製造業における安全管理」（新潟大学 准教授）・メーカー企業 1社 + 受託加工業 1社 を見学 →製造業における（取引の仕組みを理解） |
| DAY.2 | 有限会社長谷川挽物製作所 にてインターンシップ →切削加工業における安全管理と品質管理を学ぶ |
| DAY.3 | <ul style="list-style-type: none">・<講義> ISO9001について（ISOコンサルティング会社 代表）・有限会社本間産業 にてインターンシップ →洗浄業における安全管理と品質管理を学ぶ |
| DAY.4 | ・株式会社中野科学 にてインターンシップ →金属表面処理加工業における安全管理と品質管理を学ぶ |
| DAY.5 | ・株式会社阿部工業 にてインターンシップ →板金加工業における安全管理と品質管理を学ぶ |

品質管理と安全工学を学ぶインターンシップ



工場・現場と座学を学ぶことができるプログラム。
学んだことがどのように現場で生かされているのか理解できる。

千葉大学 工学部 総合工学科 デザインコース



**実際の工場で製造工程を見学しながら
デザイン制作を行うフィールドワーク**

武蔵野大学 コピーライティングゼミ



農家、飲食店、商店街などでインタビューしたものを、
記事にするゼミ合宿。

「コピーライター」の産み出す価値を地元の人を知る機会に。

聖心女子大学 「食」と「まちづくり」を知るフィールドワーク



**教員の学生を送り出したい目的をヒアリング
見学先の選定と滞在スケジュールをコーディネート**

新潟大学 工学部 G-DORMプロジェクト (文部科学省 大学の世界展開力強化事業)



【参加校】

新潟大学、ラオス国立大学（ラオス）、チュラロンコン大学（タイ）、
王立ポンペン大学（カンボジア）、ハノイ工科大学（ベトナム）

総勢約30名が6社で研修。原則、英語でのコミュニケーション

新潟大学 工学部 G-DORMプロジェクト (文部科学省 大学の世界展開力強化事業)



『学生が選ぶインターンシップアワード』
優秀賞 受賞

新潟大学 工学部 G-DORMプロジェクト (文部科学省 大学の世界展開力強化事業)

事業の内容

学生からの提案

「協力工場の稼働状況の共有システム」

目的：工業や農業といった「ものづくり」に携わる企業の生産性向上や技術高度化を図ることで、産地ならではの強みを生かした取組を行うことで、未来（次世代）に向けた価値を創造するものづくり産地へ

概要：セミナー・研究会の開催や実証実験の実施による意識啓発、(仮称)燕版共用クラウドの開発・運用による基盤構築に取組む。

重要業績評価指標 (KPI)

- 本事業により、令和3年度までに次の内容を達成する。
- 労働生産性 : 959万円/人 (54万円/人増加)
- ラボメンバー数 : 50社 (50社増加)
- クラウド利用企業数 : 15社 (15社増加)

今後の展開

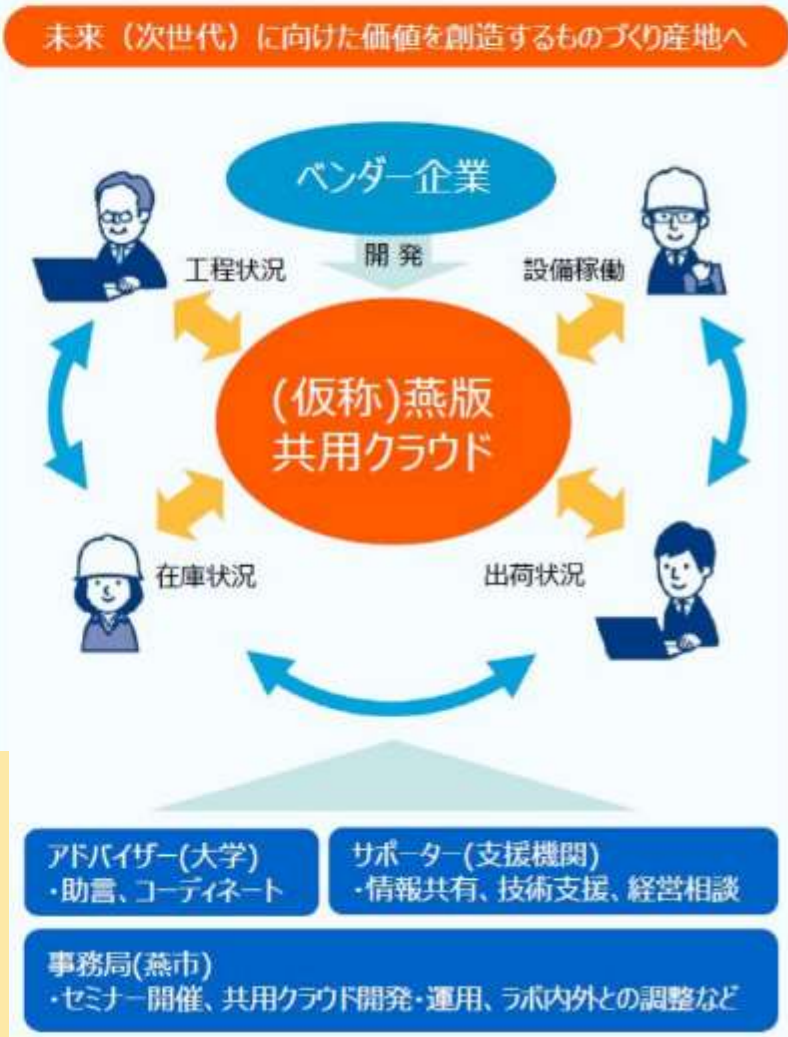
- 本事業により、生産性向上や技術高度化を図ることで、産地が持つ能力を最大限発揮し、グローバル市場の中でのものづくり産地としての競争力を高める。

事務局

→燕市の事業

「IoT推進ラボ事業」開始

事業イメージ



つばめいとのコーディネート

・「やった」で終わらせない

→企業内で学生の提案を活かすためのフォロー

→産学連携へと結びつけるための調整

本日の流れ

2月・3月
実習報告

課題

つばめ
ホンプ

現状報告

まとめ

質疑応答

学生の提案の実施主体を検索し、適切な企業へ渡す役割も担う。
時には学生を連れて市役所でプレゼンをすることも。

つばめいととのコーディネート

・企業の「将来のあるべき姿」を共に見出す

→直接、採用には結び付かずとも、

企業の将来の発展に必要な若手人材の理解と
その人材の獲得に向けた社内の改善の機会に



参加したきっかけと学生数（延べ数）

| | H29年度 | H30年度 | H31年度 | R2年度 | R3年度 |
|---------|-------|-------|-------|------|------|
| 個人参加 | 7 | 20 | 10 | 30 | 9 |
| 企業からの紹介 | 14 | 68 | 59 | 3 | 5 |
| 大学との連携 | 71 | 202 | 190 | 126 | 270 |
| 市役所事業 | 0 | 8 | 1 | 0 | 2 |
| 合計 | 92 | 298 | 260 | 159 | 286 |

大学が求める学外学習・フィールドワークの
ニーズに幅広く対応

参加企業数（実数）

| | インターンシップ 受入企業 | 工場見学等 協力企業 |
|-----|------------------|---------------|
| 製造業 | 50 | 33 |
| 卸売業 | 7 | 3 |
| その他 | 37 | 14 |
| 合計 | 94 | 46 |

**中小企業の多い地域において
企業と学生とが触れ合う機会を増やしている**

つばめいととのコーディネート

・大学とのクロスアポイントメント

つばめいと 事務局長

+ 新潟大学 工学部 助教



学生たちの学習機会を増加させるために
地域・企業が準備するべきことへの理解

地域内のリカレント教育へ

- 大学、大学生と連携した企業活動を通して
新しい技術・アイデアとの出会いだけでなく
既存の社員の育成、社員教育の充実を目指す



**地域内の人材の底上げによる
付加価値の増加・生産性の向上を目指す**

ご清聴ありがとうございました



「つばめ産学協創スクエア」HP

